

2026年度  
晃華学園中学校

第2回  
入学試験問題

【算数】

時間：40分  
配点：80点

---

答えはすべて解答用紙に記入すること。

---



問題は次のページから始まります。

1 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の式の  $\square$  に当てはまる数を求めなさい。

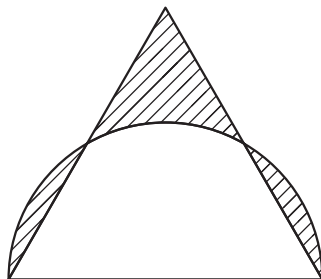
$$2\frac{2}{5} \div \frac{9}{\square} - \frac{2}{3} \times 0.125 = 1\frac{1}{4}$$

(2) 1枚のコインを投げて、表が出たら6点、裏が出たら3点もらえるゲームを18回おこなったところ、得点が87点になりました。表が何回出たか求めなさい。

(3) Aさんは、赤い画用紙と青い画用紙を、枚数の比が4：7となるように買いました。Bさんは、赤い画用紙を10枚と、青い画用紙を1枚買いました。2人が買った画用紙の枚数を合わせると、赤い画用紙と青い画用紙の枚数が等しくなりました。Aさんが買った赤い画用紙の枚数を求めなさい。

- (4) 一定の速さで進む長さ 180 m の列車 A、B があります。列車 A、B が同じ速さで向かい合って進んでいるとき、出会ってから離れるまでに 9 秒かかりました。また、列車 A が鉄橋を渡り始めてから完全に渡り終えるまでに 42 秒かかりました。このとき、鉄橋の長さを求めなさい。

- (5) 下の図は、半径 3 cm の半円と正三角形を組み合わせた図形です。斜線部分の面積の合計を求めなさい。ただし、円周率は 3.14 とします。



② 箱の中に ②、③、⑤ と書かれたカードがたくさん入っています。この箱の中から 9 枚のカードを選んだところ、書かれた数の合計は 27 でした。③ の枚数が、⑤ の枚数より多く、② の枚数より少ないとき、それぞれのカードの枚数を求めなさい。

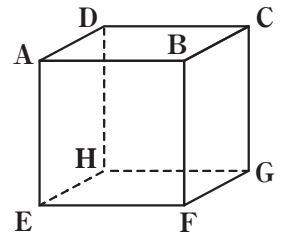
- 3 次の表において、AとBには規則にしたがって数が並んでいます。CにはAとBの数の和が書かれています。

A	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	…
B	1	5	2	5	1	5	2	5	1	5	2	…
C	2	7	5	9	6	6	4	8	5	10	3	…

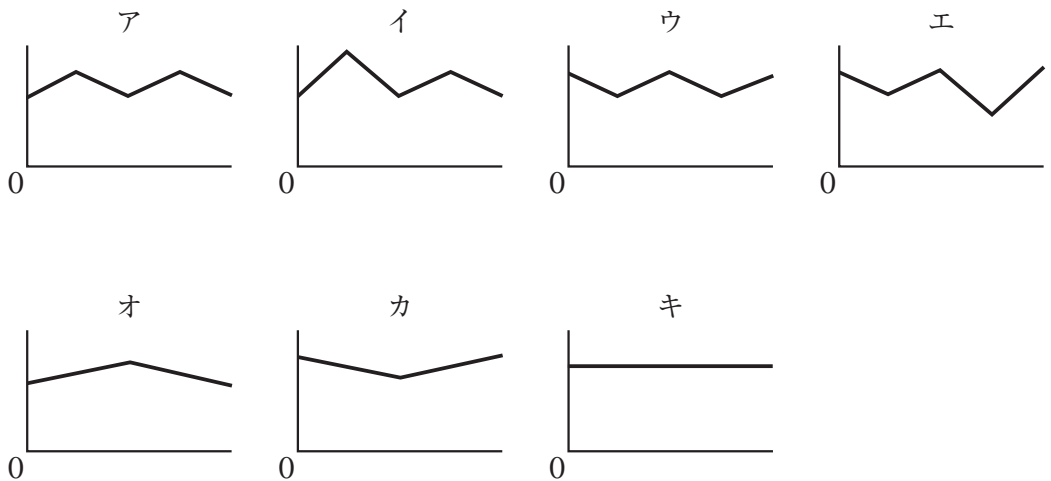
表の数が書かれた部分を左から順に見ていくことにします。例えば、Cの4番目に書かれた数は9です。このとき、次の各問いに答えなさい。

- (1) Cの21番目に書かれた数を求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2) Cの804番目に書かれた数を求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (3) Cの1番目から2026番目までに書かれた数の和を求めなさい。

- 4 右の図は、1辺の長さが4 cmの立方体です。点Pは最初Aの位置にあり、立方体の辺の上を秒速2 cmで動きます。このとき、次の各問いに答えなさい。



- (1) 点PがA → E → F → B → Aと動くとき、時間と三角形PEFの面積の関係を表すグラフを解答欄にかきなさい。ただし、三角形が作れないときは、面積は0 cm<sup>2</sup>と考えます。
- (2) 点PがA → B → C → D → Aと動くとき、時間と三角形PEGの面積についてのグラフを表しているものを次のア～キから選びなさい。ただし、横の軸は時間、縦の軸は三角形PEGの面積を表しています。

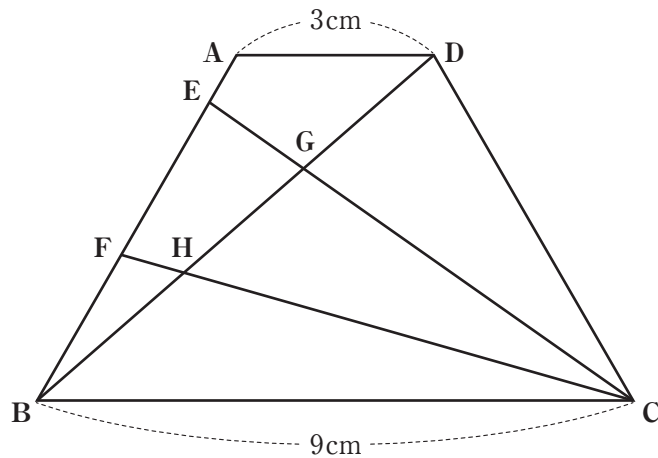


5 下の図は台形 ABCD で、直線 CE と直線 CF は台形の面積を 3 等分しています。直線 BD と、直線 CE、直線 CF との交点をそれぞれ G、H とするとき、次の各問いに答えなさい。ただし、最も簡単な整数の比で答えることとします。

(1) 直線 AE の長さと直線 EB の長さの比を求めなさい。

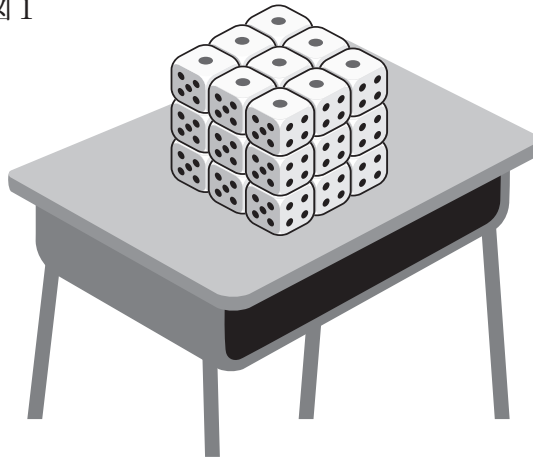
(2) 直線 BG の長さと直線 GD の長さの比を求めなさい。

(3) 直線 BH の長さと直線 HG の長さの比を求めなさい。



- 6 向かい合う面の目の合計が7のさいころがあります。このさいころを27個用意して、図1のように机の上に置きました。ただし、さいころはすべて同じ向きです。このとき、次の各問いに答えなさい。

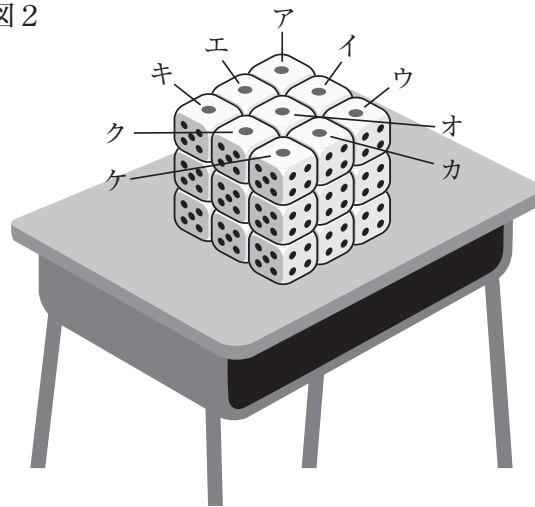
図1



- (1) 机や他のさいころにかくれておらず、まわりから見る事ができる目の合計を答えなさい。

次に、1の目が見えている9個のさいころを、図2のようにア～ケとします。

図2



(2) ア～ケのいずれか1個を取り除きます。まわりから見る事ができる目の合計が最も大きくなるのは、どのさいころを取り除いたときか答えなさい。

(3) ア～ケからいくつかのさいころを取り除いたところ、まわりから見る事ができる目の合計が135となりました。取り除いたさいころの個数として考えられるのは、最大で何個か答えなさい。









